

製品安全データシート (SDS)

1. 製造業者・提供者情報

FDEQ (エフデック農産開発)
〒849-1314
佐賀県鹿島市大字山浦乙645-17
担当部門管理部 営業課：井上和裕
問合せ・緊急連絡先
TEL 0954-66-6008
FAX 0954-66-6005
作成 令和6年10月1日

製品名 光合成細菌 (光合成細菌ガチ濃, 光合成細菌DX)
用途 水質浄化・観賞魚飼育・農業・畜産・消臭
使用上の制限 上記以外の用途に使用しない事

2. 危険有害性の要約

分類の名称：

「製品安全データシートの作成指針」(社)日本化学工業会の「分類基準に該当しない」
67/548/EEC 及び 1999/45/EG 規定によれば危険であると分類されていない。

物理化学的危険性：

爆発物	： 区分に該当しない
可燃性/引火性ガス	： 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	： 分類対象外
支燃性/酸化性ガス	： 分類対象外
高压ガス	： 分類対象外
引火性液体	： 区分に該当しない
可燃性固体	： 分類対象外
自己反応性化学品	： 区分に該当しない
自然発火性液体	： 区分に該当しない
自然発火性固体	： 分類対象外
自己発火性化学品	： 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	： 区分に該当しない
酸化性液体	： 区分に該当しない
酸化性固体	： 分類対象外
有機過酸化物	： 区分に該当しない
金属腐食性物質	： 区分に該当しない

健康に対する有害性（人的危害）：

急性毒性（経口）	：分類できない
急性毒性（経皮）	：分類できない
急性毒性（吸入/ガス/蒸気/ミスト）	：分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん）	：分類対象外
皮膚腐食性/刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：分類できない
呼吸器感作性/皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：分類できない
特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	：分類できない
吸引性呼吸器有害性	：分類対象外

環境に対する有害性（環境的危害）：

水生環境有害性（急性）：	区分外
水生環境有害性（慢性）：	区分外
オゾン層への有害性：	分類対象外

GHS ラベル表示：

絵表示又はシンボル	：該当なし
注意喚起語	：該当なし
危険有害性情報	：該当なし
注意書き：	：該当なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品
化学名又は一般名、別名：光合成細菌

成分及び含有量

粗蛋白質	65.4%
粗脂肪	7.2%
粗繊維	2.8%
可溶性糖類	20.3%
灰分	4.3%

4. 応急処置

目に入った場合

- ・すばやく清浄な水で目を洗淨する。痛みがある場合は直ちに眼科医の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・すばやく清浄な水で洗淨する。

吸入した場合

- ・特に無し。但し、気分が悪くなった場合には、安静な状態を保ち速やかに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

- ・口内を清浄水でよくすすぐ。可能であれば、のどに指を差し込み吐き出させ、安静を保ったまま速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 通常の消火作業に準ずる。(不燃性)
- 消火剤 : 通常の消火剤に準ずる。
- 使ってはならない消火剤 : なし

6. 漏出時の措置

- 少量こぼれた場合、ウエス等で拭きとる。大量に流出した場合、水で洗い流す。
- 容器が破損している場合は厚手のビニール袋に入れて二次漏出を止める。

保護具

臭気対策としてのマスク、手袋。原液が肌に付着すると臭気が手に残る場合があるのでナイロン手袋などの着用を推奨する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱 : 容器を落下・加重、衝撃などの乱暴な取扱いをしてはならない。
 - 漏れ、溢れ、飛散しないようにする。
 - 直接粘膜に触れないようにする。
 - 凍結させないようにする。

混合接触させてはならない化学物質 : 特に無し

保管 : 容器は直射日光を避け、高温にならない屋内 (常温～冷暗所) にて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 設備対策 : 漏出時の措置を行う場合は換気すること。

保護具

- 呼吸保護 : 臭気対策としてマスクの着用
- 手の保護 : 臭気防止対策としてのナイロン及びゴム手袋
- 眼の保護 : 保護眼鏡
- 衛生対策 : 定められた作業着と靴で作業にあたり、作業中は飲食や喫煙を行わない。
作業後は手を洗う

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 赤色液体
- 臭い : 下水様の独特な有機臭あり
- 凝固点 : 0℃
- 比重 : 1
- pH : 8.1

1 0. 安定性及び化学的性質

安定性 : 通常の取扱条件において安定。水溶性。
避けるべき条件 : 取扱条件に従っているとき、特になし
混触危険物質 : 特になし

1 1. 有害性情報

一般情報 : 本品は指導厳守の条件下では無害。
本品は光合成細菌培養液であり、池、及び水槽にて希釈して使用するものである。水生生物の飼育水を浄化、健康を増進させるものであり魚毒性は一切ない。

急性毒性（経口） : 分類できない
本品に致死性の累積特性なし。

亜急性又は慢性毒性
毒物学的情報 : 主成分に IARC 発がん性物質リストに記録されたものはなし。
: 分類できない
本品に致死性の累積特性はなし。

慢性的毒性 : データなし
発がん性 : データなし
変異原性 : データなし
生殖毒性 : データなし

1 2. 環境影響情報

一般情報 : 閉鎖水域で窒素や硫化水素、ヘドロ等を分解し水質を浄化する。
分解性 : 単一物は植物によって容易に分解可能。
生物濃縮 : 陸上と水生生物には特になし。
生態毒性 : 単一物は閉鎖水域での水質浄化能を有するのみであり、生態系への問題やリスクなし。
その他情報 : 適切に取り扱い使用している場合、生態系への問題やリスクなし。

1 3. 廃棄上の注意

製品廃棄 : 正しく製品を使用して内容物廃棄を発生させない。
包装廃棄 : 使用済み包装及び容器は関連国内法規ならびに地方自治体の基準に従って処分を行う。
また廃棄する場合は内容物を完全に除去する事。

廃棄手段 : 少量を廃棄する場合は、ウエスなどに含ませ、臭気漏れ・液漏れのない袋に二重に密封し、焼却処分する。容器（ポリプロピレン）の廃棄については上記の通り、各自治体の定める方法に従って分別廃棄する。内容物を大量に放流廃棄する場合は浄化槽設備を利用する事。

1 4. 輸送上の注意

分類 : 本品は 67/548/EEC 及び 1999/45/EG の規則に沿った危険物に分類されない。

本品は包装又はバルクで鉄道、陸上、海上及びコンテナ使用の物質輸送規則に即して輸送する。積

載は国際輸送規則に危険物分類はされていない。

国内規制（適用法令）

国内規制 : 規制なし

海上規制 : 規制なし

航空規制 : 規制なし

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

品名 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

特別安全対策 : 運搬に関しては、容器に漏れの無い事を確認し、万が一の落下、衝撃、損傷に耐える包装及び梱包の対策を講じた上で、丁寧な積み込み、荷崩れの防止を徹底する。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

水質汚濁防止法 : 生活環境の保全に関する環境基準項目

16. その他の情報

SDSを用いて、取扱い及び輸送条件が順守されている場合、本品は環境と健康への悪影響が発生することはありません。

改訂情報